

事務事業名		しおや湧水の里マラソン大会運営費補助金				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:2: 豊かな人を育むまちづくり				所属課	生涯学習課	担当	社会体育担当
	施策名	0:5: スポーツ・レクリエーションの普及推進				課長名	寺田 正	担当者名	若目田 崇行
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
		1	0:9	0:5	0:1	0:0:4	スポーツ大会開催費		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (		年度～
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 しおや湧水の里マラソン大会実行委員会へ運営費の補助をする。 マラソン大会は今年で37回を迎え、昨年は877名の参加があった。</p> <p>2 概算事業費 補助金210万円 今回10万円の増額を希望。 昨年の事業費決算 歳入3,196,122円 歳出3,050,377円 ※昨年は記録証発行に機械トラブルがあり、業務委託料を50万減額、併せて町補助金も50万減額している。 補助金以外は、参加者の参加費により賅っている。参加費2,000円(小学生以下は1,000円)。</p> <p>3 提案理由 これまで200万円の補助金で運営を賅っていたが、昨年記録証の発行にトラブルがあり、実行委員会において業者の見直し が提案され、高くても実績のある業者に委託すべきと判断され、結果委託費増加による予算不足となり、補助金の増額を要望 することとなった。試算した結果最大限経費カットをしても10万の増額が必要となった。 実行委員会では、業者選考にあたって委託費の増加があった場合、参加費を上げるか、参加賞に係る経費を下げるか、補助 金で賅うしかないという説明をしたが、昨年のトラブルがあり、参加費の値上げ、参加賞の経費削減はできないので、補助金に 頼るしかないということになった。</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画 (活動の量・大きさ・規模等)	参加者数	名称	単位
② 対象 (事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	町民に限らず、全国のマラソン愛好家	ア 参加者	人
③ 目標 (この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	スポーツの振興、体力向上 町のPR、活性化	イ 町民参加者	人
		イ 町外参加者	人
		ア 良かったと答えた人	%
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	人	900				0
		実績値	人					0
	イ	目標値	0					0
		実績値	0					0
対象指標	ア	目標値	人	270				0
		実績値	人					0
	イ	目標値	人	630				0
		実績値	人					0
成果指標	ア	目標値	%	90				0
		実績値	%					0
	イ	目標値	0					0
		実績値	0					0

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0	
		県支出金	千円				0	
		地方債	千円				0	
		その他	千円				0	
		一般財源	千円	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
		事業費計 (A)	千円	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円				0
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町民を対象に鈴木従道杯として開催していた大会であり、町外参加者を認めた今の形においても町のPRの機会となっており、妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	継続事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	業務委託料以外については、コスト削減に努めている。 昨年安価な業者に業務委託したがトラブルがあり、業者選考については、費用を最優先とはしていない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	参加費については、町のPRを兼ねており、低額な設定となっているが、参加者の確保するためには妥当な額と言える。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 8 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業